

公益社団法人宇都宮青年会議所
2015年度 第1回 理事予定者会議議事録

日 時：2014年 9月 25日（木）19：00～21：00

場 所：総合文化センター 3階特別会議室

出席者：

- （ 理 事 長 ） : 須山（敬称省略 以下同）
- （ 直 前 理 事 長 ） : 村上
- （ 第47代 理 事 長 ） : 福田
- （ 第46代 理 事 長 ） : 山本
- （ 副 理 事 長 ） : 澤畑、福田（之）廣田、太城、
- （ 専 務 理 事 ） : 金
- （ 監 事 ） : 黒川、安野
- （ 担 当 常 任 理 事 ） : 羽石、飯野、鈴木
- （ 会 員 拡 大 特 別 委 員 会 ） : 小瀧
- （ 法 令 会 計 審 査 局 局 長 ） : 豊崎
- （ 事 務 局 長 ） : 飯沼
- （ 委 員 長 ） : 辻、渋谷、篠原、増淵、宮林、福田（弘）、山田、
木村、飯塚
- （ 局 次 長、副 委 員 長 ） : 間島、金田、柿沼、相田、吉田、八木、菊地、中嶋、
板林、南木、佐藤、林
- （ 準 理 事 会 構 成 員 ） : 齋藤、加賀田、亀井

- 1. 開会宣言 <金>（役職名省略 以下同）
- 2. JCIクリード唱和 <飯塚>
- 3. JCIミッション並びにJCIビジョン唱和 <増淵>
- 4. JC宣言文朗読並びに綱領唱和 <山田>
- 5. 関東地区宣言唱和 <宮林>

6. 出席者の確認 <飯沼>

7. 議事録作人の指名 議事録 <総務委員会>

8. 議題並びに資料の確認 <飯沼>

9. 理事長挨拶 <須山>

まずは、2014年度の村上理事長の時間を拝借いたしまして2015年度の理事予定者会議が開催できたことに感謝申し上げます。また総務委員会、渉外委員会の皆様は予定者の段階も含めると16か月と長い間になりますどうぞよろしくお願い致します。いろいろ挨拶を考えたのですが、ひとついいたいのが、わたくしこのように理事長をやらせていただくようになりましたけれども、2005年に宇都宮JCに入会して10年経ちますが、なぜ、今、JCを頑張らせていただいているかということについて、お話ししたいと思います。JCが好きかと聞かれましたら、みなさん好きなのではと思うかもしれませんが、好きか嫌いかといわれれば、好きなのだと思います。ただ、JCには魅力があるから頑張れるのだと思います。魅力って何かといわれますと、ひとつは、まちを変えられるチャンスを得られることだと思います。JC運動を一生懸命やることによって、まちを変えるきっかけになることができることだと思います。もう一つは自分の成長につながるということです。2005年に入会してから会社の話になりますが、いろいろ修羅場もピンチもありました。ただ、JC内でいろいろ学ばせていただいて、成長させていただいておりますが、会社内では、親もJCに対して反対でした。毎日毎日行って何をやっているかわからないというところだったので、年を重ねるごとにいろいろな役割をやらせていただいたり、いろいろな方々と関わりを持たせていただいたり、少しずつ成長しました。それを会社とか家庭に持ち帰って、時折、力を発揮できることがあるのです。そのようなときに会社の人間とか家庭とかで驚かれるわけです。近年になりまして社員が増えたり、業績が少しずつ増えて安定はしてきたなという風に考えておりますが、最初の2つ、まちづくりに携われるというところと、自己の成長につながるというところで、わたしは一生懸命活動させていただいております。本年のテーマとして、人材の育成と自己の成長を挙げさせてもらっています。初理事が16名と大変フレッシュなメンバーとなりました。先日の理事面談でも皆さんの意気込みをお聞きしまして、自分が反対側で面談を受けていた時の気持ちを思い出したりしました。理事になると、どういったところが違うかということについてお話しさせていただきたいと思います。理事になると、宇都宮JCの運動をみんなで作っていくということになります。例会や事業を構築するというのはもちろんだと思いますけど、皆さんの下にスタッフとしてメンバーをお預かりするわけです。いろんな

メンバーがいると思います。非常にやる気があって自分の意見をよく理解してくれる人もいますし、ぎりぎり仕事や家庭があるなかでJCをやっている。委員会にも、毎回毎回遅れてきてしまう。例会事業においても、あまりよくないのですが、名前を書きに来るのが精いっぱい、いることができるのも少し、そういったメンバーを導くのがここにいる理事会構成メンバーなのだと思います。やはり、理事をするといろんなことが経験できるんですよ、もちろん任された例会事業をどのように構築していくのかということと、委員会内で考えて上程していく。これは非常に重要なことだとおもうのですが、その他の部分で委員会運営というのは私も大変苦労しました。この苦労が実はよかったのではないのかなと思います。ですから、ここにいます理事会構成メンバーは、今年は人材の育成、自己の成長という部分で挙げさせてもらっていますので、自分自身の成長にもつながるように、育成と成長という部分。少し話は前後しますが、育成というのは人の手で、組織の手で成長させるということです。皆さんの手でメンバーを成長させてもらって、また、自己の成長という部分では、自身で気づいて伸びていく。こういった意味で所信に書かせていただいております。みなさんにもいろいろな経験を積んでいただけて成長していただければと思います。本年もう一つ、スローガンとして、真摯に挑戦、ということも挙げさせてもらっています。これは、真に真面目にという意味ですが、何事にも挑戦していくという意味を込めて今年のスローガンとしました。皆さんも、今日第1回の理事予定者会議となりますが、いろいろな誓い、考えというものを立てると思います。それを2015年度の12月31日終わるまで立てた目標、誓いというものをぜひとも敢行するように思いを遂げていただきたいなと思います。最後に拡大の話をしていただきたいと思います。宇都宮JCは何で成り立っているかということ、やはりメンバーで成り立っている。メンバーの会費で運営されて、理事会構成メンバー、そして、メンバーで宇都宮JCというのは成り立っている。その会員が減少する、または現状維持、それではなかなか運動というのは拡がりをみせないと思います。それは、単純に今150人の人間が300人の倍になったとすれば、簡単にいえば倍以上の大きな運動ができると思います。私たちの考える運動や事業というものも、よりこの宇都宮というまちに波及させていきたいと考えていくのであれば、一人でも多くのメンバーを入れていかなければならないのだと思います。拡大委員会の方からは30名必達の、これは下のレベルの必達ですね、30名をノルマとして頑張っていきたいということで理事面談でも話が出ました。拡大は、拡大委員会だけでできるものではないと思います。理事会構成メンバーの皆さんが委員会、また配属されるメンバーにしっかりとその話をしてもらってこの宇都宮JC一丸となって全員で取り組んでいきたいと思えます。

いろいろなアイデア、考え方、こういうふうにしていったらいいのではないかというのは、初理事が多いと思いますのでいい意見があるかもしれませんので、そのあたりはぜひ共有させていただいて一緒にやっていきたいと思えます。今日は第1回の理事予定者会議でありますので、所信を中心にまた事業計画を確認していただければと思います。どうぞ1日

よろしくお願ひします。

10. 直前理事長挨拶 <村上>

まずは、2015年度の第1回理事予定者会議がこのように多くの理事会構成メンバー御参集のうえ開催されましたことをお喜び申し上げるところでございます。また、早くからまだ不慣れな中ご設営いただきました総務、渉外の皆様誠にありがとうございます。直前理事長という立場でのあいさつということになりますけれども、冒頭で少し残念な部分もあったりですね、ちょっとうれしかった部分もあったりしております。まず、いいところからいみましょうか。セレモニーを聞いていたのですけれども、羽石君と山田君声が大きくて、いつもいいセレモニーをしてくれるなと思って、すがすがしい気持ちになりました。ぜひ、ここにいる人は見習ってください。メンバーの代表になりますので。すごく気になったのが、皆さん理事会構成メンバーになるのにもかかわらず覚えてない方がいます。読んでいたり、もごもごしていたり、これは問題があると思います。今日理事会があることはわかっていたわけです。覚えていない方も自覚があったわけです。でもそれをやっていないですね。ぜひ、宇都宮J.Cの理事構成メンバーになるという自覚と気概をもって会議に臨んでいただきたいと思います。といいますのも、今日誓約書というものを配られています。公益社団法人の理事になるということは、非常に重要なことなのです。ここにある要綱を満たさないと理事になれません。また連座制というものがあります。たとえば公益社団法人の理事になっているとします。しかも他の公益社団法人の理事にもなっていて、同じような業務にあたっていて、他の公益社団法人で認定取り消しになったら宇都宮J.Cも公益認定取り消されます。みなさんそれくらいの責任があるということをお覚悟していただきたい。そして、何よりも150人を超えるメンバーの代表であります。150人を超えるメンバーからの会費から成り立っている組織であります。予算の執行、事業の執行はこの理事会で決定されていきます。この責任を、一人ひとりが自覚をもってこれから準備をすすめていってほしいとおもいます。向き合い方についてのお話をさせていただいたのですけれども、身だしなみもそうですし、すべてにとっての向き合い方というのはからんでくるのです。ホントに残念なのは、皆さんは来ていただいているのでほんとにあり難いのですけれども、自覚をもっていらっしゃるのだと思います。ただ、遅れているメンバーも多いです。もちろん公務は致し方ないのですが、ぜひ理事会には間に合うように日ごろからスケジュールの調整をしていただきたいと思ひますし、理事会遅刻してもいいのだなという気持ちが蔓延し始めると、これはメンバーに対して失礼ですから、ぜひ肝に留めておいてほしいなと思ひます。そして今須山理事長のお話を聞いているときの皆さんの向き合い方ですが、普通、常識的に考えて人の話って話す人をみているのです。みていない人も3分の1位いらっしゃる。下を向いていたり、机をみたり。あと、メモを取っている人も3分の1位います。みなさん理事として委員会を背負って行くわけですよ。委員会のメ

ンバーに来年どういう方向で運動を進めていくか、メンバーに伝える責任があるのです。理事長がお話しされているときに、やはりメモはとるべきだと僕は思います。監事講評もそうですし、常にメモは取って重要なキーワードを書き留めて貪欲にメンバーに何を伝えられるかということをしていただきたいと思います。そして、2015年度は人材育成と自己の成長というお話がありました。もちろん、自己の成長というのは須山理事長もおっしゃっていましたが、自分とどれだけ向き合って自分を伸ばせるかということですね。委員長でありますから委員会のメンバーをいかに成長させられるか、これが運動にもつながってくるわけですし、JCの価値になるわけです。そして、すべての運動にも2015年度は育成というキーワードが絡んでくるわけです。運動をとおして宇都宮市民の方にも成長していただく。それが、よい街につながっていくのだという部分であると思いますので、自分から真摯に挑戦という、スローガンでありますので、真摯にというのはどういう意味か自分で辞書で調べてみて、どのように自分が向き合っていけばいいのか会の代表として、委員会のトップとして、リーダーとしてどのように1年間過ごされていくのか、しっかりと準備して行ってほしいなと思います。1月1日から正式にはスタートするわけですので。12月31日までもう少し時間があります。この時間の過ごし方が重要になっていきます。この予定者の期間、自分と向き合って1月1日からスタートダッシュが切れるように精一杯準備をしていただきたいと思います。それでは本日も実りのある第1回の予定者会議になることを心よりご祈念を申し上げましてわたくしの挨拶とさせていただきます。

11. 2013年度理事長挨拶 <福田>

只今ご紹介いただきました、本年度直前理事長を務めさせていただいております。第47代理事長福田治久でございます。まずは、2015年度理事予定者会議本当におめでとうございます。須山理事長も一人で始まった2015年度をここまでいろいろ大変だったと思います。そして、村上理事長におかれましては、本年度ここまで、この次年度理事予定者会議というのも、一つの節目であると思います。本当にお疲れさまでした。そして、伝統と格式高いこの宇都宮JC理事会構成メンバーに、2015年度はじめて入ったという皆様、ようこそ、この理事会にお越しくださいました。皆さん方の先輩は、数多くいらっしゃいますが、今これだけの数のテーブルを埋めることができる理事会構成メンバーがいる理事会も歴史上初だと思います。理事以外の方も構成メンバーに入れていらっしゃると思いますので、そういった方には、まさに理事長が成長の機会を与えていただいていると思いますので、是非、この理事会という場を大切に、大切にさせていただけたらと思います。須山次年度が

お仕事の話をされましたので、わたくしとも思いますが、私は、2009年に専務理事をやらせていただきました。2009年というのは、2008年の今頃こういった予定者の会議がありました、この予定者の後に、リーマンショックが襲ってくるわけです。この予定者会議の後で。業種によって様々でしょうが、宿泊業はリーマンショックの影響が大きくありまして、9月に決算なので、リーマンショックから6年たっているわけで、その間には、2011年震災も経験しまして、震災の月にはその6年間で売上げのグラフが、谷を描いているのです。その会社としては一番大変な時期に、宇都宮JCでは2011年専務理事をはじめとして大変な重責を担ってきたわけです。村上理事長とは違って、出向せずずっとLOMの中心の執行部をやってきたわけですが、正直、楽ではありません、もちろん、でもここで学べることっていうのが、ものすごくたくさんあります。わたくしは、自分の人生の中では経験しないだろうということを、たくさん経験しました。でもその時、いつも助けてくれたのがこのJCの仲間であり、同志であります。JCがなければ、わたくしは今の自分ではいられなかったと思いますし、本当にJCなしでは自分の人生が考えられないようになっております。この理事会構成メンバーの方々にお会いできるのがあと数回ということが、本当に寂しいかぎりではありますが、それは、それでしっかりと割り切らなければならないと思っています。最後に一言だけ、これはあるアメリカの事業家の言葉ですけれども、これを皆さん方にお贈りしてお話を締めさせていただきます。あなたがたは今、あなた方の未来をみています。あなたが今年一番多くの時間を共にする人たち、それぞれがあなたの未来です。人生というのは、自分が何をするかとかというのではなく、だれとどのような時間を過ごすかということで大きく変わります。

ここにいるのは皆さんそれぞれにとってかけがえのない同志であります。わたくしは卒業させていただく身ですけれどもみなさんがそのような信頼関係と絆をもって宇都宮のために、日本のために、そしてそれぞれのためにこの運動を進めてくれると信じておりますし、宇都宮JCの皆さんを一生の誇りと、その時その時のメンバーを誇りとして生きていくことを私は心に決めております。2015年度素晴らしい成果があげられるよう、今から万全の準備にかかってください。本日も最後まで本当によろしく申し上げます。

12. 2012年度理事長挨拶 <山本>

まずは2015年度須山理事長の所信のもと新たに気概と覚悟をもってこの理事会を構成する宇都宮JCを代表するメンバーとしてここに集っている皆様に敬意を表したいと思います。また今日までご準備なされた須山理事長、副理事長のみんな、常任のみんな、よくやったね、お疲れさまです。これからがまた新たなスタートでもなんでもないからね、一つの節目なだけですからね、ここからまた仕切り直して次のステージに参りますので、

是非ともこの理事会構成メンバーの皆様は、正副のみんなの、常任のみんなの、指揮官の背中をみてもらいたいですし、ついていていただきたいと思ひますし、お支えいただければと思ひます。そして本日は2014年の会期中でございます。本日を迎えるまで、また本日のこの会議を開催するにあたりまして、村上理事長、そして副理事長、福田直前には並々ならぬご配慮と、並々ならぬご尽力をいただいておりますことに、改めてわたくしからも感謝と敬意を表したいと思ひます。本当にありがとうございます。ぱっとみていて、初理事の人すぐわかります。やっぱり会場にもものまれるでしょう、この理事会というものにもものまれるでしょう、でも、安心してね。2回目3回目の理事の人これもわかります。自信にみなぎっているところと、来年はこうゆうことに挑戦してみよう、須山理事長はこうゆうことをいつてくれている、というので、自信に満ち溢れている、そんな感じが満ち溢れています。でも、ここには村上理事長を含めプロは誰もいません。J Cのプロは誰もいないのです。みんな一生懸命やるだけなのです。ただただ一生懸命目の前のことを、J Cをやってきた背中が村上理事長です。2005年に入会してただただ一生懸命やってきたのが須山理事長です。そしてここにいる理事のみなさんですよ。だからここにはプロはいない。一生懸命やるだけ。でも我々がJ Cをやらなければならないのは、すべてはこれまでの先輩方の恩恵の上に成り立っていることを決して忘れてはなりません。先輩たちが宇都宮J Cの看板を磨き続けてきてくれたことを忘れてはいけません。だから、こんな40手前の未成熟な我々でございます、でも宇都宮の中では宇都宮J Cがなくては困るといつてくれている人がいらっしやいます。J Cという範疇の中かもしれないけれども、全国に宇都宮J Cってすごいなつていつてくれている人がたくさんいらっしやいます。その中心にいるのが、ここにいるみなさんですからね。僕は出向できませんから、一回も出向したことありませんから、ということは

まったく関係ありません。常に軸足はここです。LOMです。宇都宮J Cに軸足を置いてそこの理事を張っていることを認識していただくこと。そのためには何をやらなければならないか、私は13年間J Cにいましたけれどもひとつ心に強く思っていることが、まぎれもなく、負荷をあたえることでもあります。須山理事長の言葉を借りると苦勞でございます。この負荷を皆さんに如何に与えなければならないかということです。この負荷というのは、無駄とは違ひます。負荷と無駄は違ひし、この負荷というのをはき違へると何でこんなことやらなければならないんだということになりますので、常任理事の皆さんが、委員長、副委員長また委員会に負荷を与えること、そして、その負荷というものをしっかりと精査して発信するのが副理事長の役目でございますので、負荷を発信する、その負荷をしっかりと委員会に与える、そして委員会でしっかりと事業を構築する。その事業が宇都宮J Cの名刺代わりでございますので、それを作るのは委員長のみんな、みなさんですからね、是非ともその負荷を、J Cって楽しいなつていう表面をかえて発信していただければと思ひます。それが宇都宮J Cが事業を作ってきたということでもありますので、そんな宇都宮J Cを作っていたきたいなと思ひております。結びになりますが、福田直前がア

アメリカのたとえを出しましたので、来年 J C は 100 周年を迎えます。J C は 99 年前アメリカの銀行員、ヘンリーディッセンバイヤーが、一人の男から始まったのが、J C 運動でございます。アメリカが発祥ということで、アメリカのたとえ、第 16 代大統領エイブラハム・リンカーンの言葉、もしこの樹を 8 時間で切り倒せといわれたら、私は 7 時間斧を磨くだろう。これ、エイブラハム・リンカーンのいったことですけれども、7 時間斧を磨くこと、これは予定者の段階しかできないことじゃないですか。しっかりとこの、斧を磨く 7 時間に充ててください。2014 年度の村上理事長の全員の委員会の皆さんに敬意を払い感謝をしつつ、しっかりとあなた方の斧を磨いてください。そして、1 月 1 日から倒すのは樹かもしれませんが、それは無関心というそんな人たちへのものだと思います。そんな宇都宮に対すること、事業に対するメンバーのこと、その無関心をすべて、ここにいる理事会構成メンバーで切り倒して 2015 年度素晴らしい宇都宮 J C の運動になることを心より祈念いたしまして 2015 年度理事会行ってください。構成メンバーに対しまず、最初で最後のはなむけの言葉とさせていただきますと思います。

<金> ここで式次第にはありませんが、第一回理事予定者会議ということで理事会構成メンバー並びに準理事会構成メンバーのみなさまから一言ずつ頂戴したいと思います。

以下下記の順で挨拶。

豊崎、間島、金田、辻、飯沼、渋江、齋藤（準構成メンバー）、篠原、加賀田（準）、柿沼、増淵、羽石、宮林、相田、吉田、福田（弘）、飯野、山田、八木、菊地、中嶋、木村、鈴木、飯塚、板林、亀井（準）、林、佐藤、南木、小瀧、安野、黒川、福田（之）、澤畑、廣田、太城、金

13. 協議事項

協-1 2015 年度理事長所信（案）について

協議資料に基づき読み合わせ

<須山> 引っかけりながら読んだり、読み方が間違えたりあったとは思いますが、とにかく読み込んでいただいて、この後委員会ごとに、またラインごとに読み合わせがあると思いますので、中身について聞かれてわかるようにしててください。常任理事、副理事長と協議をしていただいて内容を確認しておいてください。また、内容についてわからないことがあれば聞いてください。

協一 2 2015年度事業内容（案）について

協議資料に基づき金専務理事より読み上げ

<須山> 特にありません

協一 3 2015年度グループ構成（案）について

協議事項に基づき金専務理事より読み上げ

<須山> 理事面談でもお話ししましたが、積極的な諸大会への参加、また会員拡大へのお願いというのはさせていただいております。委員会内におきましても進めていただければと思います。また、全国大会へのご協力におきましても是非お願いいたします。

協一 4 2015年度 総会・例会・事業担当（案）について

協議資料に基づき金専務理事より読み上げ

<小瀧> 全国大会八戸大会とありますが、東北八戸大会としてください。

<金> 修正をさせていただきます。

<須山> 特にありません。

協一 5 2015年度 諸会議要綱（案）について

協議資料に基づき金専務理事より読み上げ。

<木村> 準理事会メンバーは今後とも理事会に出席するのでしょうか。

<金> 出席します。

<木村> 理事会構成メンバーの表記に入れた方がいいのではないのでしょうか。

<金> オブザーバーとしての出席となり議決権を持たないのでこのような表記としております。

<板林> アジェンダにワード、エクセルを盛り込んでいくという可能性があるということでしょうか。

<金> 現時点ではありません。

<板林> パワーポイントも入れておいた方がよいかと思います。ワード、エクセルですと閲覧者がみるときにずれることがありますので、PDFというのも一つの手段だと思います。

<金> 正副で確認して来月の理事会でご報告します。

<須山> 準理事について補足をしますと議決権がないので審議可決の時には、手を挙げないでいただきたいと思います。発言に関しても同様に手を挙げての発言はできませんが、発言を求められた時にはコメントを述べていただきたいと思います。

協一 6 2015年度収支予算計画（案）について

協議資料に基づき金専務理事より読み上げ。

<金> 現段階の資料のため変更があることをご理解ください。

<安野> メールビルダー管理費が0円になっていますが新たな告知方法を考えていますか。宇都宮城市民の会の支出が去年も0円で今年度も0円なので次年度記載する必要があるのですか。

<金> メールビルダーに関しては今年度と同様の配信を考えております。宇都宮城市民の会に関しては協議のうえ対応します。

<八木> 寄付金収入に関して項目が2つありますが、違いはありますか。

<金> 修正します。

<須山> 変更があるということをご理解いただければと思います。

14. 報告事項

報一1 2015年度 組織図（案）について

<金>資料をご一読お願いします。

報一2 2015年度 予定者スケジュールについて

報一3 2015年度 年間公式スケジュール（案）について

<金> 変更があるという認識でご理解をお願いします。

報一4 公益社団法人日本青年会議所 2015年度会頭所信について

報一5 公益社団法人日本青年会議所 2015年度基本資料（案）について

<金> 資料をご一読お願いします。

報一6 その他

<豊崎> 県提出用事業計画書の提出をお願いします。期限が9月26日でしたが、10月1日を期限とさせていただきます。理事誓約書に署名捺印の上、提出をお願いします。

<金> 予定者のスケジュールはなるべく早くメールにてお知らせしますが届いていない方は事務局長までご連絡ください。

15. 監事講評

<黒川>

まずはこの理事予定者会議を無事開催できたことを心よりお喜び申し上げますとともにこの会議を開催するにあたり準備していただいた事務局のみなさん本当にお疲れさまでした。本日、初理事初委員長が多いということもありまして、わたくしからお願い事があります。まずは、来年委員会メンバーと一緒に汗をかき、そして、がむしゃらになって事業を構築していただきたい。何より、この理事会に出席しているときも委員会メンバーが背中にいることを感じながら理事会にも出席していただき、自信をもって発言をしていただきたい、そして、来年1年間理事を全うすることによって自己の成長につなげていただきたい。わたくしからはそんな事を述べさせていただいて監事講評とかえさせていただきたいと思います。本日はお疲れさまでした。

<安野>

皆様、本日は第1回理事予定者会議開催、誠におめでとうございます。それと事務方の皆さん早い時間からの準備ありがとうございます。いよいよ、4か月間の準備の期間がスタートしました。先ほど山本第46代理事長がおっしゃっていたように準備をしっかりしていただきたいと思います。それと、須山理事長予定者、村上理事長、福田直前理事長が共通のことをおっしゃっていました。自己の成長と人材の育成。こちらは、みなさん一人ひとりにはたくさんの伸びしろがあると思います。自分に負荷をかけて、2015年度皆さんの飛躍の年にしていただきたいと思っております。ひとつ気になった点ですが、何か質問がありますかと専務に問われた時に、特段ありませんとかは、あまり聞きたくないと思います。自分の意志と意見をもってこの理事会に臨んでほしいと思います。皆様、自己の成長につなげられるような1年にしていただければと思います。どうぞよろしくお願ひします。

16. 閉会宣言

<金>

公益社団法人宇都宮青年会議所
2015年度 第1回 理事会議事録

議 長：(専 務 理 事) 金 克 彦

議事録作成人：総務委員会

議事録署名人：須 山 裕 史
黒 川 崇
安 野 嘉 政